

## 平成28度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	住民のパワーによるパワースポットのパワーアップ事業
事業主体 (連絡先)	筑北村 企画財政課 電話 0263-66-2111
事業区分	教育、文化・スポーツの振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,295,852 円 (うち支援金 : 968,000 円)

### 事業内容

1. 修那羅石仏群の調査、研究  
個体数調査、希少性、云われ調査
2. 石仏群解説、案内マニュアル作成着手
3. 修那羅石仏群を住民が「知る」「学ぶ」  
学習会、講演会、意見交換会の開催  
里山探訪講座の開催
4. 地域で支える仕組みづくり  
住民や学校と連携した環境整備  
住民ガイドの育成
5. 記録化  
個体ごとの記録や風景を撮影



【修那羅石仏群学習会】

### 【目標・ねらい】

- ①地域の観光資源としての活用
- ②文化財ボランティアの育成
- ③地域の協働事業の推進
- ④文化財の伝承

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

1. 個体数調査、希少性、云われ調査をすることで修那羅石仏を深く知ることができた。
2. 石仏群解説、案内マニュアル作成に着手することで、ボランティアガイドの育成が図られ始めた。
3. 知る「学ぶ」学習会等への参加数が延べ 175 名と大勢参加があり、住民も関心を持ちはじめている。
4. 住民や学校と連携した環境整備を行うことでふれあう機会が提供できた。
5. 電子記録化を図ることで、今後の保存やPRにつながる基礎づくりができた。

### ※自己評価【B】

#### 【理由】

ホームページなど活用した情報発信までに至らなかった。  
協働事業の面としては工夫が必要であった。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・修那羅石仏群を地域が更に知る事業を継続して実施するとともに、情報発信に努める。
- ・地域住民と一緒に村の貴重な文化財を観光や交流など、どのように活用できるか検討しあう場の確保もしていく。
- ・地域や子ども達へ伝承していくための事業を推進する。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある